

第2回強制「従軍慰安婦」問題アジア連帯会議

ご賛同下さったみなさまへ お礼とご報告

“結び合わされ、力になりました”

第2回強制「従軍慰安婦」問題アジア連帯会議の計画は手探りのうちに進められました。実行委員会の呼びかけに応え、支援をよせてくださる方々のお名前が暗闇の中に灯のように時とともに増え続けていきました。思いをよせ、カンパを送ってくださった方々に心からお礼を申し上げます。

皆様の支えがあってこそ、この連帯会議は、分かち合いの場を拡げ、和解の香りを漂わせて開会の運びとなりました。これから取り組むべき行動を見定め、日本軍「慰安婦」問題に対し、支援行動の具体案を共有していく広場となりました。

アジア連帯会議実行委員会として国連大学ホールの使用を申し込んだところ、「従軍慰安婦」問題は（前）政府を批判するものであるからという理由でことわれましたが、これによって権力者の立場からではない歴史の見直しの重要性を改めて心に期しました。だからこそ、この会議を支えてくださいました一人一人からのカンパがさらに温かく心にしみこんで来たのです。

多くの人々に支えられたアジア連帯会議の実行委員会として、これからも取り組まなくてはならない問題を見つめ、連帯の輪がさらにひろげられ、元「慰安婦」の方々とともにこれからの歴史の中で女性の人権が生かされるよう願ってやみません。

1993年12月8日

コーディネイター カーター愛子



プログラム 10月21・22日 国立婦人教育会館

司 会 高橋久美子 朴潤南 柴洋子

[21日]

- 1:00 開会挨拶・オリエンテーション・ゲスト紹介 カーター愛子
 1:30～5:00 各国の運動紹介
 韓国 朝鮮 中国 台湾 フィリピン インドネシア
 6:00～8:00 歓迎夕食会
 8:00～9:30 分散会 (地域別)

[22日]

- 9:00～10:30 基調報告 日本からの総括 高橋喜久江
 在日女性の立場から 金富子
 国会活動報告 清水澄子
 11:00～12:00 質疑応答・討論
 12:00～ 1:30 昼食
 1:30～ 3:00 全体討議
 3:30～ 4:15 詩とうたによる構成 「あなた朝鮮の十字架よ」
 (3:00～4:15 決議文作成委員会)
 4:15～ 5:00 決議文採択・閉会

海外からのお客さまと各国の報告から *印は報告者

韓国 *李美卿(イ・ミョン)さん(挺身隊問題対策協議会総務) 尹貞玉さん、鄭淑子さん、申~~秀~~秀さん、金慧媛さん、金信実さん、呉鐘礼さん、尹順女さん、韓国瑛さん、尹紋子さん、山下英愛さん、申福順さん、柳恭順さん、申二心さん、韓安洙さん、金容姪さん、全純得さん、李ジョンソンさん、梁順任さん、尹順萬さん、

挺身対協は、元「慰安婦」への支援とともに国連はじめ海外へ代表を送ったり、国内では毎週水曜の日本大使館への定例デモ、証言集の出版、研究会の組織など活発な活動を続けている。これからの運動の方針として従来の真相究明をさらに深めるものとして日本政府に対して、責任者の処罰、戦争犯罪ならびに重大な人権侵害に対する「時効不適用条約」に加入することを要求したい。

朝鮮民主主義人民共和国 *朴明玉（パク・ミンウク）さん（従軍慰安婦および太平洋戦争犠牲者補償対策協議会常務委員）、李蓮花さん

北朝鮮 でも昨年来、五三人の元「慰安婦」が名乗りでたが、そのうち三人がこの一年の間に死亡、連行当時ほとんどが十六歳から十九歳だったという被害者たちは、苛酷な経験のために心身ともに健康を害している。この人々の奪われた人権を取り戻すために、日本政府の誠意ある対応、国連での謝罪と補償を要求したい。

中国 *王家湘（ワン・ジャパン）さん（北京外国語大学教授）

中国では一九九二年三月になって、民間団体が戦争責任問題をとりあげることが可能になったので、「従軍慰安婦」問題が公にされるようになり、現在調査をすすめている。九五年には北京で公聴会を開く計画がある。

台湾 *陳怡真（チェン・イフェン）さん（台北市婦女救援基金会委員長） シャオ・イファンさん

台湾における元「慰安婦」の実態調査結果は、五〇年たった今も彼女たちが肉体的、心理的に傷を負ったまますごしていることを示している。この痛みをいやすためには日本政府による謝罪と補償が必要である。

フィリピン *マリア・アンヘリカ・ランドルさん（フィリピン・タスク・フォース）マリア・ロサ・ヘンソンさん、T. サリノグさん、S. マガバグさん

前政権時代には、フィリピンには元「慰安婦」はいないとされていたが、前回の連帯会議の後、マリア・ロサ・ヘンソンさんが最初に名乗り出て以来、百人をこす元慰安婦が申告し、四十六人が現在、日本政府を相手に裁判している。ローラ（おばあさん）たちの名誉を回復し、正義を明らかにするためには、日本政府の謝罪と補償が必要である。

インドネシア *エンダン・M・スウオンドさん（弁護士）

国の援助や民間の団体の後ろ盾のないインドネシアの元「慰安婦」たちは、過去の苦しい経験を語ることもなくひっそり暮らしている。日本の経済援助のゆえに政府がこのような運動を喜ばないという現状である。

アジア連帯会議第2日目(10月22日)の報告

第2日目は、一日目の各国報告に引きつづき、日本側が報告を行った。

まず、高橋喜久江さんが日本の女たちの「慰安婦」および戦後補償問題への取り組み状況について、金富子さんが在日韓国人女性の立場から、在日「慰安婦」裁判へ取り組むことの意味を、参議院議員の清水澄子さんは国会のなかでの活動状況をそれぞれ報告した。以下、その内容のおおよその報告である。

1、高橋 喜久江さん(売買春問題ととりくむ会事務局長)は、まず、日本が引き起こした戦争において、アジアの国々に対して日本がまぎれもない加害者であること、現在の日本人は、過去に責任をとらなければいけないこと、そして自らの歴史の検証をしてこなかった事実を率直に認め、その点をアジアの出席者へおわびすることから報告を始めた。

まず最初に、日本の女たちの運動を中心に話した。

92年8月19日、韓国挺身隊問題対策協議会の発表した決議文をもって対政府交渉をしたことからはじまって、衆議院・参議院の各議長へ面接や国会議員へのアンケート調査や昨年の国際公聴会、九州のグループによる軍事郵便などの払い戻し運動、全国的に行われた731部隊の展示会、遺族会の戦後補償裁判への取り組み等紹介した。日本のあちこちで、小さいながらたくさんのグループが具体的に活動していることが述べられたあと、教科書問題にふれ、日本史の教科書(7社になる予定)に「慰安婦」問題が記述されることになった。たった1行でもふれられていれば、現場の先生たちがそれをふくらませていけるはず。これも長い間の文部省交渉や出版労働者への働きかけの結果であること、さらに10月20日出された家永教科書裁判で文部省の検定に対して厳しい判決がでたことを報告した。

調査・出版活動も活発でたくさんの良書が発表されていることを紹介し、草の根における日常活動が各地域に根付く運動の多さにあらためて感激する反面、日本政府の態度をみると、8月4日の第2次調査結果発表をみても警察関係の資料が一つも出ていないなど真相究明に消極的であり、細川政権の姿勢も「補償は日韓条約で支払い済み」と後退していることを指摘。「慰安婦」という天皇制・家父長制に支えられた性暴力は、現在も買春やアジアの女性たちへの性支配として日本の加害性がつづいていることを強調し、世論を高めることが政府を動かすことになることとたゆみない運動を継続することの決意を語ってアジアのひとたちへの連帯のあいさつにした。

2、金富子さん(ウリヨソネットワーク)は、戦前・戦後と日本への激しい同化政策を強いられ、在日朝鮮人として差別の中で生きてきた女性の立場を明らかに拓いてみせてくれた。

朝鮮半島の南北分断のなかで本国からも棄民化され、民族性が否定されてきた中で、家、社会、コミュニティ、民族性を守る抵抗の砦として、家族制度、男の優位制度を強固にし、民族的であろうとすればするほど伝統的な女役割のなかに自らを埋没させてきてしまった。在日・女という民族差別・性差別のなかで、二重三重の差別の中に自らの可能性を秘めて生き

てこざるを得なかった怒りと悲しみの原因は、日本の民族差別が同胞社会の差別を助長してきたからであると語った。

さらに、「元『慰安婦』である在日韓国人宋神道さんの裁判を通して植民地支配の不当性・違法性を広めることができる。朝鮮の女性を10万人も強制的に『慰安婦』として連行するといふことができたのは朝鮮が植民地だったからにはかならない。強制連行が植民地政策の一環だったという認識が日本人には欠落している、侵略戦争は、朝鮮人自らが引き起こしたわけではない。植民地にされた人々を道具として駆り出した日本人の戦争道義とは全く異なる」と厳しく指摘。

在日の『慰安婦』裁判の原告である宋神道さんがなぜ『慰安婦』にされたのか、そして植民地政策の不当性を明らかにしていくことは自分たちの日本への存在根拠を解き明かすことになる」と熱く語った。日本の性差別の上にある公娼制を背景に『慰安婦』が存在させられ、それに民族差別が密接に関連。「異民族」と「女」が重なりあったからこそ差別の極致化が可能になったのだと、民族差別の中における「性差別」に視点をおくと同時に、在日する女の中に内在化されているものもえぐり出し、「在日」する自分は日本政府と直接対峙できるという有利な立場にいと今後の活動への決意もあわせて報告をした。

3、清水 澄子さん(参議院議員)の国会での活動報告は、期待を受けていても大きな展望を提示できないので問題提起にしたいと国会内での活動の苦しさを伺わせる言葉ではじまった。国会には「社会補償特別委員会」があり、フィリピン、韓国の遺族会や挺対協の要請など、市民と国会のパイプ役につとめていること、さらに1992年12月に韓国挺対協の書簡をもとに第1回目の質問をしたのをかわきりに9回もの質問をし、少しずつではあるが、政府の姿勢を突き崩してきている。最初は「関与」を認めなかったが、韓国を初めとするアジアの国々や日本の国会、市民の怒りがようやく、「強制性」を認めるところになった。これはみんなの活動の成果であり、政府は結局それを追認せざるを得なかったのだ。しかし、現在も政府は「慰安婦」を戦争犯罪だとは思っていない。「人道に対する罪を認めるか」と質問したときも「人道に対する罪で有罪になった被告はいなかった(東京裁判で)」と自らを免罪にしようとしている。93年8月、宮沢政権最後の仕事として「第2次調査報告書」を発表したが、警察関係の資料が一枚もない。細川首相の侵略戦争発言はあっても、具体的な補償となるとサンフランシスコ・日韓・日比・日中・日台各条約で解決済みという姿勢をくずしてはいない。政府は国際的人権規範からいかに逃れるかを考えており、国連人権委員会で決議されたからと決して安心してはいけない。日本は経済力で工作していくことを甘くみてはいけないと今後の私たちの運動においても視野にいれておかなければならないものがあることを指摘した。

国会議員へ期待されても、国会の中で女だからといってすべてが団結できるわけではない。ともに生きる世界、アジアの平和をつくるというならば、各団体がそれぞれ議員に働きかけて、国会へ風が吹くようにしてほしい、国会は社会の縮図なのだからと国会外から働きかけの必要性を強調した。「責任者処罰」問題等も戦争犯罪という明らかな認識をもたないと無理だと運動の在り方にも言及された。

「あなた朝鮮の十字架よ」を演じて

アジア連帯会議において歴史詩集「あなた 朝鮮の十字架よ」(張貞任著・金知榮訳)を構成して松代・朝鮮人「慰安婦」の家を残そう実行委員会・在日韓国民民主女性会のメンバー10人によって演じました。わずか2回の合同練習で内心心配でしたが、発声練習をしたり、連帯会議をより良いものにとの思いで臨みました。

幕があがる直前の緊張した時、先に白い木綿のチマ・チョゴリに着替えていた「家を残そう実行委」のメンバーが、会場の裏庭で採った白やら薄紫の野菊をチョゴリの紐につけたり、髪に飾っていました。まるで元「慰安婦」たちを心優しく慰めているような小さな思いつきに私は嬉しくなりました。そして、せりふの中の一節(踏みつけられても生き返る野の花のように)を思い浮かべました。

通訳によって韓国・朝鮮語、英語にも訳されました。前列の席で元「慰安婦」のハルモニが涙をふいているのが見えました。ハルモニたちの流された涙の重たさを今後も私たちの心に印していきたいと思いました。

金 好 子

(金 好 子)

報告と証言の集い

「見てください、私のこの腕を！ 日本兵が私を辱めようとした時に手向かったため、彼らはわたしを殴り付け、腕を折ってしまったのです。」 チョゴリの袖をまくってみせた尹順萬さんの腕は今も曲がったまま伸ばすことができません。父親が独立運動に参加したという理由で、日本の官憲は家中をめちゃくちゃに荒らし、尹さんを「慰安婦」として連行したのでした。

「私が連行されたのは、14歳の誕生日を迎えたばかりの時です。日本軍の駐屯地に閉じこめられ、何人もの兵隊に次々に暴行されました。」 フィリピンで最初に名乗りでたマリア・ロサ・ヘンソンさんは、解放後も、悪夢のような記憶に苦しめられ、夫との結婚生活もうまくゆかなかったと自分の経験を語り、日本政府がひとりひとりに誠実に謝罪し国際法に基づく補償をしてほしいと訴えました。

10月23日午後、東京・杉並の阿佐ヶ谷教会で開かれた証言と報告の集いには約300人が参加し、2人の元「慰安婦」の証言と各国代表による報告が行われました。

☆マレーシアからの報告

マレーシアのマリア・チン・アブドゥラさんの報告は、会議の終わった次の日に遅れて到着しました。アブドゥラさんは、日本兵に強姦され、「慰安婦」とされたマレーシア女性の、日本兵が慰安所の外に長い列を作り、一日何人もの日本兵の相手をするを暴力で強制されたこと、その忌まわしい記憶が戦後の家庭生活まで破壊したという苦難の証言を紹介するとともに、日本政府のマレーシア政府に対する圧力のため、「慰安婦」の問題をとりあげ、補償を要求する運動を行うことも難しい現状であるとのべています。

決 議 文

1993年10月21日、22日両日、日本において開かれた第2回強制「従軍慰安婦」問題アジア連帯会議に参加した韓国、朝鮮、中国、台湾、フィリピン、インドネシアの代表は日本軍「慰安婦」について次のように決議します。

昨年8月韓国ソウルにおいて私たちは、実態調査、真相究明と責任ある戦後処理を日本の政府に要求すること、国際機関への働きかけ、各国との連帯の強化などを決議し、運動を進めてきました。

その後、第1回会議に参加したフィリピンでは被害者が名乗り出、裁判に訴えたことをはじめ、中国、台湾、インドネシア、マレーシアなどで運動は著しく進展しました。日本軍「慰安婦」問題は世界的に女性の人権問題として取り上げられ、国連人権小委員会でも特別報告者が任命されました。日本政府も第2次調査報告書において、部分的ではありますが、日本軍「慰安婦」について強制性を認めざるに至りました。これらは私たちの運動の成果であると評価することができます。

しかし、日本政府は補償については「解決済み」の姿勢をいささかも変えていません。アジア諸地域には、今もお過去の苦しい経験を公にすることのできない元日本軍「慰安婦」も多く、私たちは問題の解決に向かって一層の努力を求められています。

以上のことをふまえて、私たちは次のような決意を確認します。

1. 日本政府は日本軍「慰安婦」制度が天皇制ファシズムと軍国的な国家権力による組織的な犯罪であると認めること。
2. アジア・太平洋全域に及ぶ実態調査と、被害者総数、国別、姓名など徹底した真相究明を行い、第3次報告書を公表すること。
3. 日本政府は被害者への賠償のために特別法を制定すること。
4. 日本政府は国際法を完全に遵守し、戦争犯罪および重大な人権侵害には時効が適用されないという「時効不適用条約」に加入すること。
5. 日本政府は責任者を明らかにすること。責任者は処罰されなければならない。
6. 日本政府は加害者としての自覚に基づく歴史教育を深め、平和・人権思想の徹底を図ること。

私たちは日本政府が自らの経済力を利用して各国政府に対し個別的な妥協を強いることを危惧するものです。このような意味で、私たちは連帯運動の重要性を一層痛感し、次のことを確認します。

1. 私たちは、日本軍「慰安婦」問題に関する国内運動をそれぞれの国でより強力に展開する。
2. 被害国は、国際法の発展に貢献するため、戦争犯罪および人道に対する罪の時効不適用条約に加入するよう努力すること。
3. 国連人権小委員会の特別報告者の活動を積極的に支援すること。
4. 1995年北京で開催される国連世界女性会議をはじめ、人権関係の諸国際会議で日本軍「慰安婦」問題を提起するよう努力すること。

私たちは日本軍「慰安婦」問題を単なる過去の問題としてではなく、形を変えて今なお根強く残る性的人権抑圧であると捉え、あらゆる性的奴隷制度と強姦の廃絶をめざします。

1993年10月22日

第2回強制「従軍慰安婦」問題アジア連帯会議 参加者一同

会議を終えてからの行動

鳩山副官房長官に決議文を手渡し要請

25日、各国代表が衆議院会館で鳩山副官房長官と面談。持参した会議での決議文を手渡し、口々に「一日も早い補償の実現を」と訴えました。同副官房長官は、「二度と戦争を繰り返さないために、いろいろな行動を考えている。自分は戦後生まれだが、慰安婦にさせられた方々に、大変ごめいわくをおかけしたことに対し、心からおわびしたい」と語り、要請に対しては文書で回答することを約束しました。

各国代表が公邸を訪れ、土井衆院議長に面談

第2回強制「従軍慰安婦」問題アジア連帯会議に参加した各国の代表が、25日午前11時半衆議院議長公邸に土井議長を表敬訪問し、30分間面談しました。韓国とフィリピンの元「慰安婦」、尹順万（ユン・スンマン）さん、マリア・ロサさんがあいさつ。

土井さんは「みなさんの要求を実現するためには国会での議論が必要。各党、とくに自民党に呼びかけてほしい」と強調しました。

軍事郵便貯金の支払い求め 郵政省に要請書提出

韓国挺身隊問題対策協議会と台北市婦女救援基金社会福利事業基金会は、文玉珠（ムン・オク）さん（韓国大邱市在住）をはじめ、少なくとも6人の元「慰安婦」が軍事郵便貯金を預けたという証言を得ている。そして、文玉珠さんの貯金については郵政省もその原簿を確認し、昨年5月、本人に25,245円の残高が残る「原簿預払金調書」を手渡した。

現在、郵政省は約73万口座・約24億円の軍事郵便貯金と約2千万口座、約24億円の旧外地郵便貯金、そして簡易保険（金額不明）の原簿を保管している。それらの支払いを求めると同時に重要なのは、原簿を調査することだ。文玉珠さんの場合も、「調書」が彼女の連行の確かな証拠であり、詳細に調査すれば、軌跡にも迫ることができるからだ。

10月25日、韓国挺身隊問題対策協議会、台北市婦女救援基金社会福利事業基金会、文玉珠さんの軍事郵便貯金の支払いを求める会の3団体は連名で、総理大臣と郵政大臣に対して要請書を提出した。その内容は「1. 日本政府は、従軍慰安婦の調査をすすめている関係諸団体に軍事郵便貯金の原簿を公開し、ともに調査すること。2. 日本政府は、軍事郵便貯金のみならず野戦郵便局で取り扱われた為替貯金業務に関するすべての保管文書に関係諸団体に対して公開し、ともに調査すること」というもの。

お便りから

<川越市 M>

かつての戦争については、戦後生まれの私は「責任」はとれません。でも今問題になっている慰安婦への補償を実現できるかどうかは、まさに私たちの責任です。

<沖縄市 U>

日本の犯したあまりにも重い罪をどのように償えるのか絶望的な気もしますが、その困難さを認識するところからしか、「連帯」は始まらないとも思います。

<東京都 B>

売買春観光や出稼ぎ外国人女性の周辺に起こされている事件などを通してみる私たちの国の倫理性の低さ、特に性倫理の。従軍慰安婦問題の真の反省と謝罪はこれらを改めることがなければ。性倫理の確立にこそあると考えます。よき実りを祈念しつつ。

<千葉県 N>

戦争責任についての新首相の発言が後退しつつあります。アジアの皆さんとの連帯をより強固なものに…

<横浜市 K>

戦争がもたらした問題の中で最もつらく憤りをおさえられない出来事です。どうかしっかりとがんばってください。心から祈っています。

<府中市 N>

私たちは「従軍慰安婦」問題を日本の文化の問題として、日本人のひとりひとりに問われている問題と考えています。このような会議が一時的なお祭り騒ぎに終わることのないように今後もねばり強く運動を展開して行きましょう。

報告集の予約

アンパの力をいければ、アジア連帯会議に参加でき、たかたために報告集をつくることになりました。

94年2月末日までには発行する予定です。

予価1000円 B5判

2月末日までに同委員会振込み用紙で前条内にくたいたかたにのみ、送料は当方負担となります。

① 1冊から9冊まで 予価1000円(1冊)

② 10冊以上 予価800円(1冊)

ギル・ゾクお友達のため買いが便利です。

送り先
は、

強制「従軍慰安婦」問題アジア連帯会議

実行委員会

〒169 東京都新宿区西早稲田2-3-18-24

日本キリスト教協議会女性委員会 気付

☎03-3203-0372 (NCC)

☎03-3816-1862 (日韓人連)

振替 東京1-715961

第二回強制「従軍慰安婦」問題アジア連帯会議 会計報告

* 収入の部

連帯会議参加費(10/21～23)	1,710,000円
賛同カンパ(現金 268件)	2,334,796円
賛同カンパ(振替 524件)	2,908,599円
雑収入	24,311円
	6,977,706円

* 支出の部

招請者諸経費(旅費、滞在費、etc.)	1,274,571円
連帯会議開催費(諸経費、謝礼、etc.)	1,466,437円
事務局諸経費(通信費、印刷費、etc.)	280,657円
報告書作成経費(日本語、英語)	3,000,000円
	6,021,665円
残高	956,041円

参加団体

日本キリスト教女子青年会(YWCA) 日本キリスト教協議会(NCC) 日本キリスト教婦人矯風会 日本婦人会議 婦人民主クラブ 日本の戦後責任をハッキリさせる会 「従軍慰安婦」問題を考える会 在日韓国民民主女性会 従軍慰安婦問題ウリ・ヨソン・ネットワーク 松代・朝鮮人「慰安婦」の家を残そう実行委員会 在日の慰安婦裁判を支える会 ザ・リボン浦和 アジアの女たちの会 朝鮮人従軍慰安婦問題を考える会 グループ・性と天皇制を考える ききょう(トラジ)の会 従軍慰安婦問題を考える町田の会 従軍慰安婦問題を考える熊本の会 「従軍慰安婦」問題を考える都高教有志ネットワーク 「従軍慰安婦」問題を考える女性ネットワーク 文玉珠さんの軍事郵便貯金の支払いを求める会 フィリピン人元「従軍慰安婦」を支援する会 フィリピン人元「慰安婦」と共にLUNAS在日大韓基督教全国女性連合会 天皇制・おんな塾 東京YWCA 売買春問題ととりくむ会 ポラピックの会 新日本婦人の会 アジア女性会議ネットワーク 女性史を拓く会 ウリ・ヨソンドゥル下関・アジア 在日朝鮮民主女性同盟

第二回強制「従軍慰安婦」問題アジア連帯会議 賛同団体及び個人

(12月15日現在)

団体 (102)

日本キリスト教団碑文谷教会/カトリック正義と平和委員会/日本キリスト教団浦和東教会/「日本基督教団むさし小山教会/日本バプテスト婦人連合/みやぎ外国人問題研究会/アジア太平洋地域・戦争犠牲者に思いを馳せ心に刻む会/社会主義婦人会議/不二出版/明石書店/外国人登録法を考える機馬の会/豊島婦人の会/女性問題くにたち市民会議/働くことと性差別を考える三多摩の会/茅ヶ崎同盟教会婦人会/現代家族問題研究所/鳩風会湖北支部/あらゆる戦争への動きをぶつぷせ!としま百人の会/女の人権基金/在日韓国民主統一連合/解放同盟品川支部女性部/鳩風会小松支部/マリアの宣教師フランシスコ修道会本部修道院/鳩風会信州部会長野支部/カトリック東京正義と平和委員会/鳩風会教賀支部/鳩風会高知支部/クリスト・ロア宣教師修道女会/中野区女性会館職員/アジアの聖フランシスコ宣教師女会東村山修道院/聖ベルナルド女子修道会/お告げのマリア修道会/奥沢教会婦人会/日本バプテスト同盟全国婦人会/未来社/「従軍慰安婦」問題キリスト者女性の会/カノッサ修道女会管区本部/シャトル聖パウロ修道女会管区本部/愛徳カルメル修道会/宮崎カリタス修道女会本部/聖母訪問会/金沢聖霊修道院/カトリック聖霊奉仕布教修道女会/聖マリア修道女会メルセス会第一修道院/無原罪聖母宣教会/人権を考える会/日本ルーテル教団関東地区婦人の集い/幼き聖マリア修道院/日本女性同盟/印刷センター労働組合/久留米キリスト教会/在日韓国青年同盟/七三一部隊展全国実行委員会/戦争への道を許さないKITの女たちの会/ベテスダ姉妹有志/レデンプトール女子宣教会/朝鮮女性とともに歩むあいち女性の会/善きサマリア会修道院/朝鮮女性と連帯する北海道の会/守護の天使の姉妹会/祖国統一汎民族連合日本地域本部/婦人民主クラブ横浜支部/婦人民主クラブ鳩ヶ谷支部/婦人民主クラブ梅田支部/婦人民主クラブ池田支部/婦人民主クラブ京都洛友支部/婦人民主クラブ兵庫支部/婦人民主クラブ尼崎支部/婦人民主クラブ多摩支部/婦人民主クラブ全国協議会/在日大韓基督教団西地方教会女性連合会/在日名古屋教会女性会/日本キリスト教団中目黒教会/メルセス会第一修道院/聖母被昇天修道会/日本婦人会議大阪府本部/聖ビンセンシオの愛徳姉妹会/自治労清瀬市職員組合/マリアの娘エスコラピス修道女会/ベテスダ奉仕女母の家姉妹会/婦人鳩風会横浜支部/阿佐ヶ谷教会/阿佐ヶ谷教会シオン会/お告げのフランシスコ姉妹会/在日大韓東京中央教会女伝道会/行動する女たちの会/赤旗婦人家庭部/日本キリスト教団川崎教会婦人会/日本教職員組合/女性会/在日大韓基督教東京教会女性会/在日大韓基督教西新井教会女性会/在日大韓基督教豊橋教会/日本キリスト教団大和松原伝道所/泉北ルーテル教会婦人会/東京聖書集會/カンバーランド長老希望ヶ丘キリスト教会従軍慰安婦問題を考える会/津ルーテル教会/福島YWCA/コングレガシオン・ド・ノートルダム/日本キリスト教団佐賀教会社会部/高知県総評センター/「従軍慰安婦」問題を考える熊本会の会

個人 (620、匿名希望16)

山本有紀乃/渡辺悦次/新裕子/沈光子/姜春子/朴和美/金明美/金 栄/高橋喜久江/梶山順子/熊崎清子/梁雪芝/朴潤南/門田紀子/上田佐紀子/齊藤徳子/高柳直正/西本宗一/木野村照美/田淵真弓/川島順子/荒井英子/ディラン恵子/安田節子/小野栄子/上田津子/内藤文子/本村ふみこ/湯浅謙/千坂雅子/黒川万千代/高崎宗司/原直子/渡辺宏/大越京子/日暮恵子/武田てるよ/川口明子/中野比登志/松下知梅靖三/鈴木由美子/吉岡章子/堀世紀子/永井喜子/内藤美智子/尾山礼子/内藤留幸/磯部寿賀子/重藤都/南雲和夫/赤塚朋子/伊藤安代/増田博光/有光健/重政栄一郎/小倉雪枝/小笠原/黒坂陽子/前田美那子/石下直子/村田則子/松井やより/小林平和/金剛静慧/平田真貴子/小林やすえ/安部栄子/五米静枝/桃井完二/有木隆子/齊藤典子/飛田雄一/岩崎節子/吉田美代子/佐々木あけみ/齊藤都寿古/宇佐見玲子/上田孝憲/岡崎トミ子/齊藤美紀子/塩崎弘志/永田悦子/西尾正二/山口美代子/矢内久子/宮武美/伊東秀子/北村小夜/吉沢久子/岡部伊都子/井上輝子/金子みつ/林 郁/二上佑子/二上千賀子/那須育子/佐野紀子/井上節子/中嶋民子/三井紀代子/三井万紀/村田晶子/星神ひとみ/水野泰伸/水野美知子/大脇雅子/永倉あい子/吉野薫/米倉テルミ/小林美和子/早川紀代/稲葉寿美子/谷民子/早苗麻子/太田久美子/服部寿/島袋陽子/宮崎夢子/飛田悦子/谷口葉子/高野倉寛/河野千春/加納実千代/酒井文雄/細野津子/増田れい子/宇佐見ミサ子/竹村泰子/持田季未子/式田茂/三輪民子/中山幸代/坂内義子/山崎斉子/池田正枝/赤塚陽子/井上スズ/二本治子/徳差政子/猪瀬いと子/井田静子/勝賀野斗史呼/石井桃子/山口由幸/丸山友枝子/安部昭子/鹿島直美/谷島光治/浦島悦子/湯川貞子/児玉一義/一條仁/佐藤共子/鹿沼京子/青木小夜子/山崎栄海/矢田勝子/鷺見八重子/丸本百合子/小川美智子/今村美代子

和泉あき／林冬子／桜井和子／荒木洋子／北山郁子／渡辺鈴女／高橋洋子／池田俊子／石毛美智子／高嶋伸欣
井上孝／松田信子／前畑幸子／山口菊子／毛利亮子／田中壽子／吉川文子／山下治子／渋谷綾子／宮越節子／
山口泰子／山本美知子／飯田敏子／鈴木さよ子／中川加代子／石丸敏子／志沢允子／加瀬さつき／沢田秀子／
青木悦／加藤順子／設楽ヨシ子／井澤幸治／文多恵／赤石千衣子／井口久仁／二川町子／小泉達人／松本美知
子／谷本静子／峰峻由紀子／小林はるよ／岡村麗子／山崎朋子／川崎佳子／谷口昌子／戒能民江／高良真木／
志村すみ子／崎村久美子／山口オチホ／長沼節夫／笹沼智子／大崎喜代子／青木初子／田中富美江／久野綾子
沢登千恵子／藤本恵子／牧野逸子／村上靖子／岡崎宏美／辰野雪子／八木澤扶美子／萩原佐千子／馬場絹枝／
菊池緑／石丸敏子／今村秀子／高橋幸子／吉松繁／西山千代乃／栗原君子／山本由子／小林桂子／田村国子／
島田美重子／松本由美子／太田宏美／秋野ひろみ／池田祥子／松浦和子／多田サヤ子／円谷恭子／加藤文子／
菊池雅栄／未兼多喜子／秋本知子／湯野川洋子／鈴木亮湖／塚田典枝／藤原美紗子／小田島貞子／行本ますみ
富永正満／嵯峨邦子／丸嶋輝／坂詰貴司／関宏子／松本薫／長浜免子／平川景子／石村澄子／勝山美智子／岡
野泰子／佐藤寿映／高橋百合子／植田賢一郎／義江明子／岡田薫／中口真弓／五十峯智子／高橋康子／阪本和
子／野村広美／野村瑞枝／富永初枝／成律子／李文子／金薫子／金英姫／慎民子／船橋邦子／山崎カオル／楠
原理枝子／為永清子／近正美／岡田多恵子／杉野ちせ子／林さえ子／山口ふじ子／成井幸子／岡田洋子／羽田
ゆみ子／梁川照子／吉野智美／高石清子／金城誠子／渡辺寛／塩野雅代／神山和子／中原道子／銀林美恵子／
五十嵐トキ／伊藤滝子／朝倉かつ子／林浩治／稲葉修三／相馬みえ子／上野さちえ／石田百合／楠典子／森千
栄子／岡田淳／佐藤正子／上島琢哉／岡田雅宏／田島恵子／君野道子／西村登美子／岩田陽子／川合伸江／
石川晶子／若林佐恵子／前田智子／齊藤喜子／小林文／筒井姫敏／韓在順／趙良心／日高裕子／持地邦太郎／平
賀圭子／菊池靖子／古謝和枝／宇佐川富子／秋山淳子／岩瀬房子／新井美子／島岡弘子／仁田裕子／堀部ゆり
子／奈須恵子／黒岩容子／沢田幸子／福原宇子／塩沢美代子／尾沢孝司／広木道子／権今子／劉貞好／徐貴生
金恵栄／稲茂登子／富田正江／大岡成子／松本とも子／伊藤よう子／高月雅子／井上昭子／村上三吾／野村
三穂子／坂詰美代子／蔵元英二／伊藤啓子／田辺久子／神納智子／神納正春／清水さえ子／大内要子／中嶋美
智子／徳丸工子／伊与部靖／砂田エミ子／渡辺峯／杉原順正／西野照／高橋郁子／岩井ひろ子／浜則子／小林
カツ代／澤村京子／山田章博／増田恵津子／中川瑞代／金子ゆふ子／森部健子／柳田由紀子／町田よし子／上
田佐紀子／中島乃婦子／永畑道子／鈴木悠美／河本美智子／北澤正子／柴沼聰子／／田坂富士男／佐
川亜紀／今澤和代／宮岡明子／三山雅子／井上輝子／石井鉦枝／長内うり／笠間ゆき子／黒川鶴子／永野健夫
小林由花／安和光子／中村素子／大澤一枝／大木和子／矢野澄子／細川秀幸／吉安壽子／齊藤悦子／金知栄／
金好子／金寿子／張明子／申久江／李愛美／飯島春子／本谷晴志／山口孝子／秋山宣子／岸上昭子／兼崎輝／
並木良／山本紀子／島山嘉世子／多田佳英／萩原英子／青沼薫／宮本なおみ／方清子／鄭貴美／全英子／徐福
南／朴美佐子／山田リウ子／永井操子／山野和子／坂岡庸子／東京弁護士会有志／小川恭志／中康昌／松崎鈴
子／福沢康博／赤坂幸子／池田芳江／湯舟妙子／木村ふみ江／村田和／市川米子／板倉聰／松淵昂／島修身／
坂梨成子／塚本裕之／羽成秀子／小田とも子／林昌子／安岡啓純／福永雄余子／柴崎由美子／新田和子／村尾
知恵子／大門恵美子／島田由美子／戸石あや子／婦民クラブ大宮支部有志／中山真理子／早野けい／小野恵久
子／小田嶋／李香代子／森英子／石井寛／渡辺一夫／東風徹／田中昭司／今岡二三子／木口由紀子／岡田紀英
山本美知子／大高ゆみ子／根谷崎和子／權田真澄／小林和子／戸枝晶子／權野和枝／西山恵美子／米村幸江／
長尾照子／矢口節子／樋口敏子／阿部やよい／佐久間米子／豊田タミジ／志自岐重都子／中村ふじ奈／島成美
呉寿恵／金智童／金安弘／權玉華／徐貞順／金智裕／金智隆／金永愛／金正子／申桂順／金分利／李京子／宋
実智子／李花子／文泰吉／張秀子／朴英子／尹玲愛／金恩洙／姜順明／鄭静子／中茂子／門間幸枝／栗原理生
植月千春／袋江敏子／平本泰助／片岡貴美子／飯沼礼子／高松常子／丹野貞子／馬場咲枝／広岡逸樹／野村美
登／太田宏美／三崎／相田典子／浅野紀子／金英達／多田とよ子／星野恵理子／大阪府立夕陽丘図書館有志／
花村健一／村田充子／井上祐雅／佐藤ひろこ／本名愛／須藤サダ／石下直子／佐藤加代／坂詰美代子／楠沼和
枝／水野美代子／古神篤子／岩崎寿美礼／柴野かおり／金和子／佐藤ひろこ／竹田信子／伊地智恵子／鈴木勉
鄭暎恵／岡本宏／青山博子／渡辺和子／遠藤むつこ／高瀬煥子／鳥居庸子／林節子／上野千鶴子／三井勝夫／
吉田穂彦／山鹿文子／松岡信子／永江力／姜英園／増田美栄子／宇田川順子／駒野陽子／大和田千代子／六甲
ルーテル教会有志／宝塚ルーテル教会婦人会有志／先崎朋子／富樫守／須栗陽子／湯前知子／相馬信夫／李光
子／森春子／北島真理／吉沢久美子／谷恵子／齊藤なおみ／金和美／今村秀子／村田和子／鈴木伶子／三浦純
子／安藤康子／羽柴玲子／大月寿子／城川勢以子／枝松京子／広瀬麗子／船戸妙子／崎村久美子／横溝千賀子
元山俊美／田中美代志／小笠原愛／江口裕子／久木田義男／小林研／雙川由美子